

レファ協への参加説得から 公開事例の活用まで



2022年3月3日

第17回レファレンス協同データベース事業フォーラム

伊丹市立図書館 本館「ことば蔵」 上田 茜

目次

- 1 当館について
- 2 レファ協活動状況・参加に至るまで
- 3 レファ協業務体制
- 4 公開事例と事例アクセス増のための工夫
- 5 レファ協活用方法
- 6 登録・公開を継続した結果

1. 当館について

本館「ことば蔵」

■開館

2012年7月1日 旧本館から移転開館

■組織

- ・事業担当(一般室司書・児童室司書・庶務)
- ・交流担当(市民企画イベント・公募イベント・貸室)

■受賞歴

- ・2014年 子どもの読書活動実践優秀図書館
- ・2014年 第1回マイクロ・ライブラリーアワード
- ・2016年 Library of the Year 2016大賞
- ・2020年 第23回図書館を使った調べる学習コンクール総務大臣賞

2. レファ協活動状況・ 参加に至るまで

レファ協活動状況

■参加

2016年12月

■お礼状

2016年より5年連続

2020年 年間データ登録ポイント お礼状対象館中 **第1位** ※1

■研修等でのレファ協紹介

2020年度 紹介件数 参加館中 **第1位** ※2

※1 参考「令和2年度 国立国会図書館長からの御礼状送付」

https://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks_R2.html

※2 参考:「レファレンス協同データベース事業 令和2年度事業報告」p.4～参加館による活動 研修等での紹介

https://crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/report_fy2020.pdf

レファ協に参加したきっかけ

■参加のきっかけは担当者(新人)の希望

学生時代にレファレンスとレファ協を知る



図書館業務は世間一般に知られているのか？

専門性をわかりやすく図書館外にアピールするには？



レファ協でレファレンス業務の可視化に取り組んでみたい！

レファ協参加に向けた館内調整

目的	実践
上司や先輩に話を聞いてもらう素地を作りたい	<ul style="list-style-type: none">・自己研鑽に励む
レファ協が当館に必要な理由を揃えたい	<ul style="list-style-type: none">・レファレンス認知度の調査（職業体験の中学生）・レファ協参加館に質問・レファ協利活用研修会
収集した情報をまとめて説得にあたりたい	<ul style="list-style-type: none">・デメリット（登録の手間）を上回るメリットの整理・参加後のイメージを具体化

3. レファ協業業務体制

カウンターとレファレンス体制

■カウンター

2階児童室カウンター

貸出・予約2名、レファレンス1名

3階一般室カウンター

貸出・予約・インターネット受付2名、レファレンス1名

■レファレンス担当者

児童室司書4名・一般室司書4名（うちレファ協担当者2名）

レファ協公開までの業務フロー

■レファレンス受付から公開まで

受付 → その場でレファ協入力・wordに入力しレファ協へ転記

→ 受付者が公開予定事例を自薦

→ レファ協担当者がとりまとめ → 貸出カウンター担当者が書誌チェック

→ レファレンス担当者回覧 → レファ協担当者が公開の決裁

■調べ方マニュアル掲載のブックリスト

コロナ初期の在宅勤務時に作成、現在はカウンターの隙間時間に作成

業務フロー構築まで

■館内で事例登録の研修

研修マニュアルをレファ協の館内作業メモに記載
回答プロセスに資料ページ・URL確認日
ローカル項目に受付者名

■レファ協担当者が2名から1名になった際の負担

担当者2名体制に

■レファレンス担当者の公開事例チェック量の負担

プレチェックを行うことで負担減

4. 公開事例と事例アクセス増のための工夫

公開事例

公開の目的	事例
レファレンスの敷居を下げたい	・クイックレファレンス ・Twitterと親和性が高そう
レファレンスを深く知ってほしい	・難解
利用者の時間を節約したい	・ブックリスト
レファ協の公開件数を増やしたい	・加筆修正が少なく公開が楽

■ 1つの事例にたくさんの目的を任せない

■ 他館の類似事例があってもいい

→ 公開件数**増**

レファ協公開前提で企画したイベント

イベント名	対象者
本のソムリエ	中学生以上
あなただけのお誕生日の本	小学生

■ 図書館に関わる数値増

来館者数・利用登録者数・貸出冊数

■ 業務負担を増やさないため、後日回答

■ ブックリスト「お誕生日の絵本(登場人物の年齢別)」



公式Twitterで紹介されるために

■レファ協公式で取り上げられた事例の反応をチェックし類似事例を公開

- ・普段の反応(いいね・リツイート)はどのくらいか

■質問文の工夫①

未就学児からの質問は年齢を明記、ひらがな表記

- ・「あだむといぶってどっちがさいしょなん？(4歳)」

■質問文の工夫②

話し言葉をそのまま載せる

- ・「池井戸潤の小説で…。さっきまで覚えててんけどタイトル忘れちゃった。」

5. レファ協活用方法

レファレンス公開事例の活用

■レファレンス事例を紹介

- ・中学生の職業体験

複数のツールで情報の裏を取ろう

「駄六川の由来などがわかる本はありますか。」

- ・図書館を使った調べる学習コンクール関連講座（学校司書、教員）

児童・生徒の興味を探る

■レファレンス事例をまとめて調べ方マニュアルに

- ・「うろ覚え・覚え違いのタイトルを特定する -当館受付事例より-」

調べ方マニュアル公開事例の活用

■ 紹介シーンに合った関連ブックリストを紹介

ついでに・・・掲載媒体のレファ協を紹介→レファレンスサービスを紹介

紹介シーン	紹介例
まちづくり出前講座 子どもの本はすばらしい！～すべての子どもに読書を～	・関西弁絵本 ・関西弁紙芝居
キッズサバイバー講座(市民企画)	・防災絵本 ・防災紙芝居
学校司書・教員向けの新刊紹介	・LGBTQIA+絵本

6. 登録・公開を継続した結果

登録・公開を続けてよかったこと

- 館内コミュニケーションが増えた
- 市民からレファ協の取り組みを激励される
- 第2次伊丹市子ども読書活動推進計画(2021～2028年度)
「レファレンス協同データベースに登録している
レファレンス事例の公開をすすめます」
- 行政評価における図書館の成果指標(2021年度～)
レファレンスサービス件数(市内全館の年間受付件数)

登録・公開に取り組む理由

- 国立国会図書館長からの「お礼状」
- レファレンスの技術向上、認知度向上
- 他の図書館業務に活かせる
 - ・レファレンス研修のネタ
 - ・出前講座で紹介する本のセレクト
 - ・子ども読書活動推進計画の進捗報告

ご清聴ありがとうございました

